



No. 9-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成23年度第2回

一般国道42号
た な べ に し
田 辺 西 バ イ パ ス

【再評価】

平 成 2 3 年 9 月
近 畿 地 方 整 備 局

目 次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

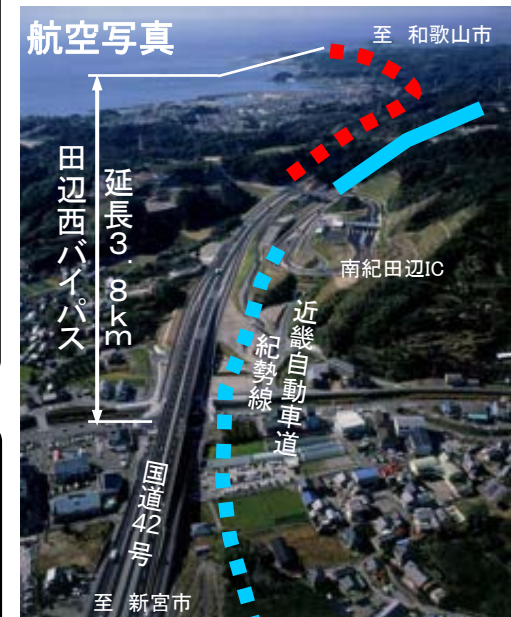
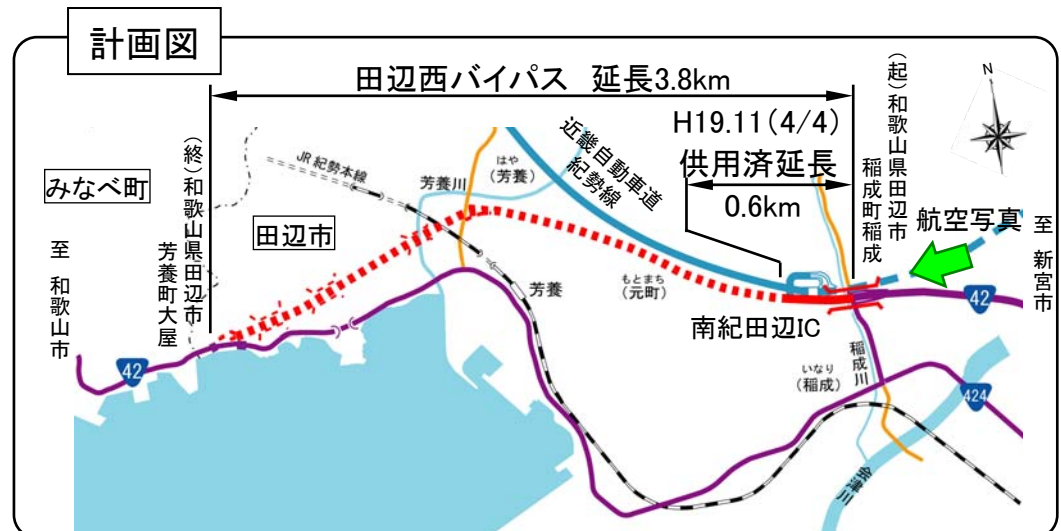
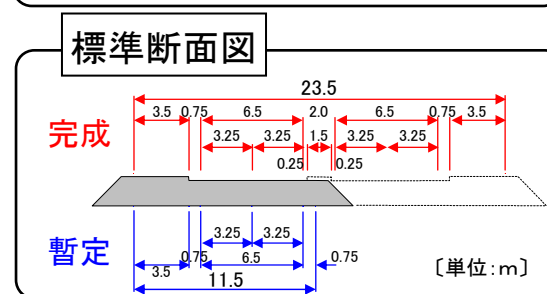
1. 事業の概要

事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 災害時の交通確保

計画の概要

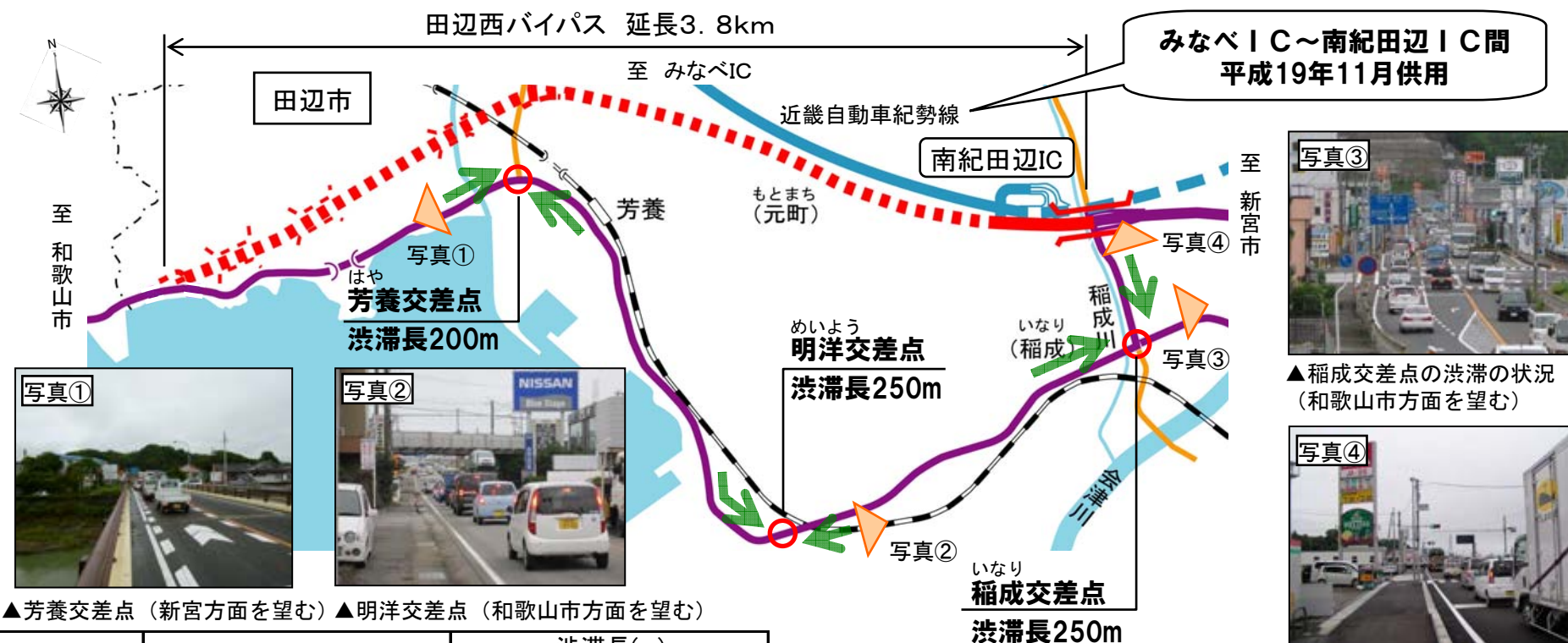
区間	(起) 和歌山県田辺市稲成町稲成 (終) 和歌山県田辺市芳養町大屋
道路延長	L=3.8km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	W=23.5m
計画交通量	12,700台/日
全体事業費	280億円
事業化	平成9年度
都市計画決定	平成8年11月
用地着手	平成13年度
工事着手	平成13年度
供用延長	L=0.6km
事業進捗率	62% (平成23年3月末)
用地取得率	92% (面積ベース、同上)



2. 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化(交通量の変化等)

- 田辺西バイパスの現道区間では、平成19年11月に近畿自動車道紀勢線みなべIC～南紀田辺IC間が供用したことにより、各交差点の混雑は改善されたが、依然渋滞は解消されていない。



▲芳養交差点（新宮方面を望む）▲明洋交差点（和歌山市方面を望む）

交差点	方面	渋滞長(m)		
		H19.8.22	H20.8.19	H23.7.22
いなり 稲成交差点	上り方面(新宮市方面)	550	1,200	250
	下り方面(和歌山市方面)	1,350	150	200
めいよう 明洋交差点	上り方面(新宮市方面)	1,800	150	100
	下り方面(和歌山市方面)	350	150	250
はや 芳養交差点	上り方面(新宮市方面)	800	200	200
	下り方面(和歌山市方面)	200	200	200

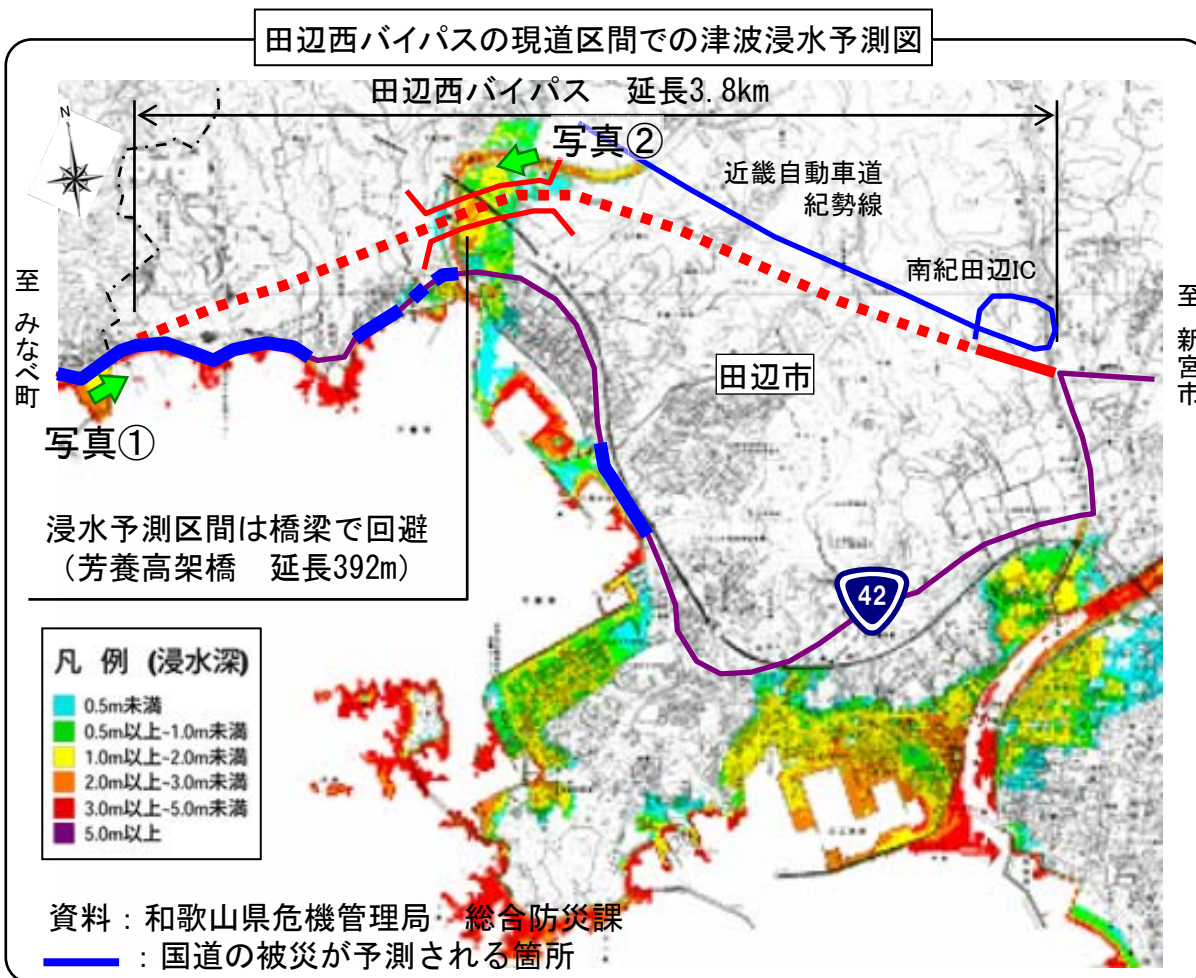
出典：平成23年度事務所調査資料
写真：平成23年7月22日撮影

- ・ 近畿自動車道紀勢線が南紀田辺ICまで供用した結果、各交差点とも交通混雑は改善。渋滞は依然解消されていない

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(災害時の円滑な交通確保①)

- 田辺西バイパスの現道区間である一般国道42号(5.6km)は、東南海・南海地震時に予想される津波浸水被害予測延長は1.8km(32%が被災)。
- 田辺西バイパスは、東南海・南海地震時の津波による浸水時には、迂回路、避難路及び避難場所として機能するため、物流や市民生活への影響を軽減。



▲海沿いを通過する
国道42号
(田辺市芳養町大屋
付近)



▲浸水域と想定されて
いる田辺市芳養町
芳養付近の避難路、
避難場所となる芳養
ランプ付近

東日本大震災により、交通機関にも大きな影響が出ている。
国土交通省紀南河川国道事務所は11日から、津波の危険があるとして、国道42号の一部を通行規制している。
通行止めになっているのは日高町萩原交差点(串本町方面行き)、上富田町岩崎交差点(同)、田辺市稲成町交差点(和歌山市方面行き)、那智勝浦町勝浦臨海交差点(串本町方面行き)。
また阪和自動車では下り線の和歌山インターチェンジ(IC)から南紀田辺IC間を通行止めになっている。

▲東日本大震災により当該区間の交通にも影響
(紀伊民報12面 平成23年3月13日)

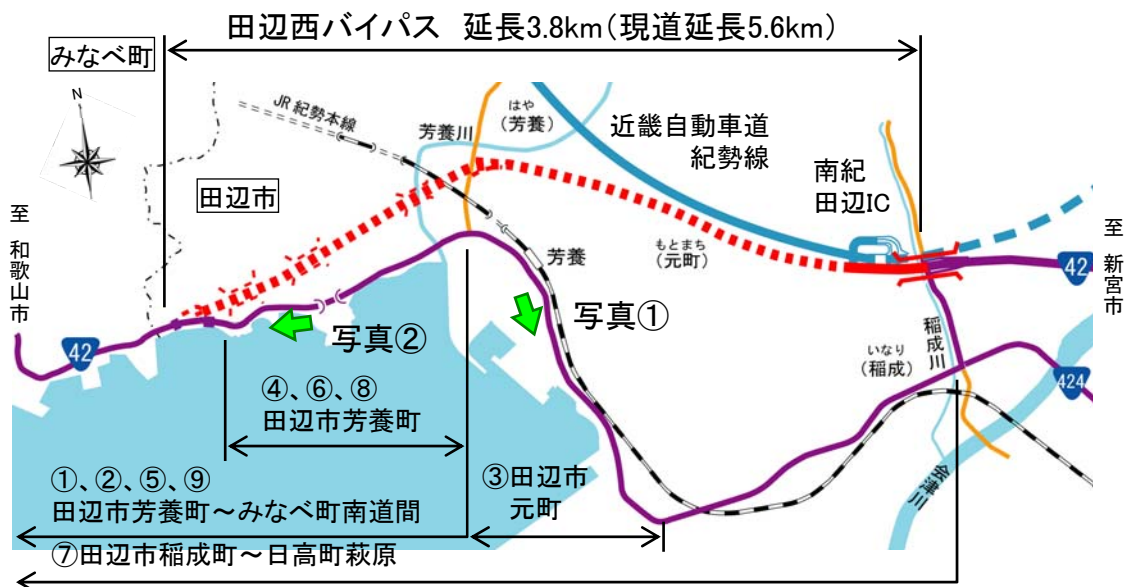
紀南にも被害や影響

東日本大震災により、交通機関にも大きな影響が出ている。

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(災害時の円滑な交通確保②)

- 田辺西バイパスの現道区間である一般国道42号(5.6km)では、台風に伴う越波による通行規制も過去10年に9回発生(このうち、通行止6回・74時間)。
- 田辺西バイパスは、越波による通行規制や道路冠水時には、迂回路及び避難路として機能するため、物流や市民生活への影響を軽減。



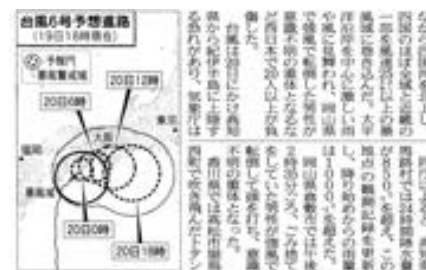
▼田辺西バイパス並行区間の一般国道42号で過去10年間に実施した通行規制

番号	実施日	規制区間	規制原因	規制状況	規制時間
①	H15.8.8~H15.8.9	田辺市芳養町~みなべ町南道	越波	通行止	12時間
②	H16.8.30~H16.8.31	田辺市芳養町~みなべ町南道	越波	通行止	13時間
③	H16.10.20	田辺市元町	越波	通行止	7時間
④	H17.9.6	田辺市芳養町	越波	片側交互	1時間
⑤	H17.9.6	田辺市芳養町~みなべ町南道	越波	通行止	15時間
⑥	H19.7.15	田辺市芳養町	越波	片側交互	3時間
⑦	H23.3.11	田辺市稲成町~日高町萩原	津波	通行止	19時間
⑧	H23.7.19	田辺市芳養町	越波	片側交互	4時間
⑨	H23.7.19~H23.7.20	田辺市芳養町~みなべ町南道	越波	通行止	8時間
合計		9回			82時間

台風による被害の状況

資料①
台風6号

近畿・四国、暴風域に
和歌山・田辺で避難指示



平成16年10月20日撮影



平成23年7月19日撮影

資料①：日本経済新聞43面 (H23. 7. 20)

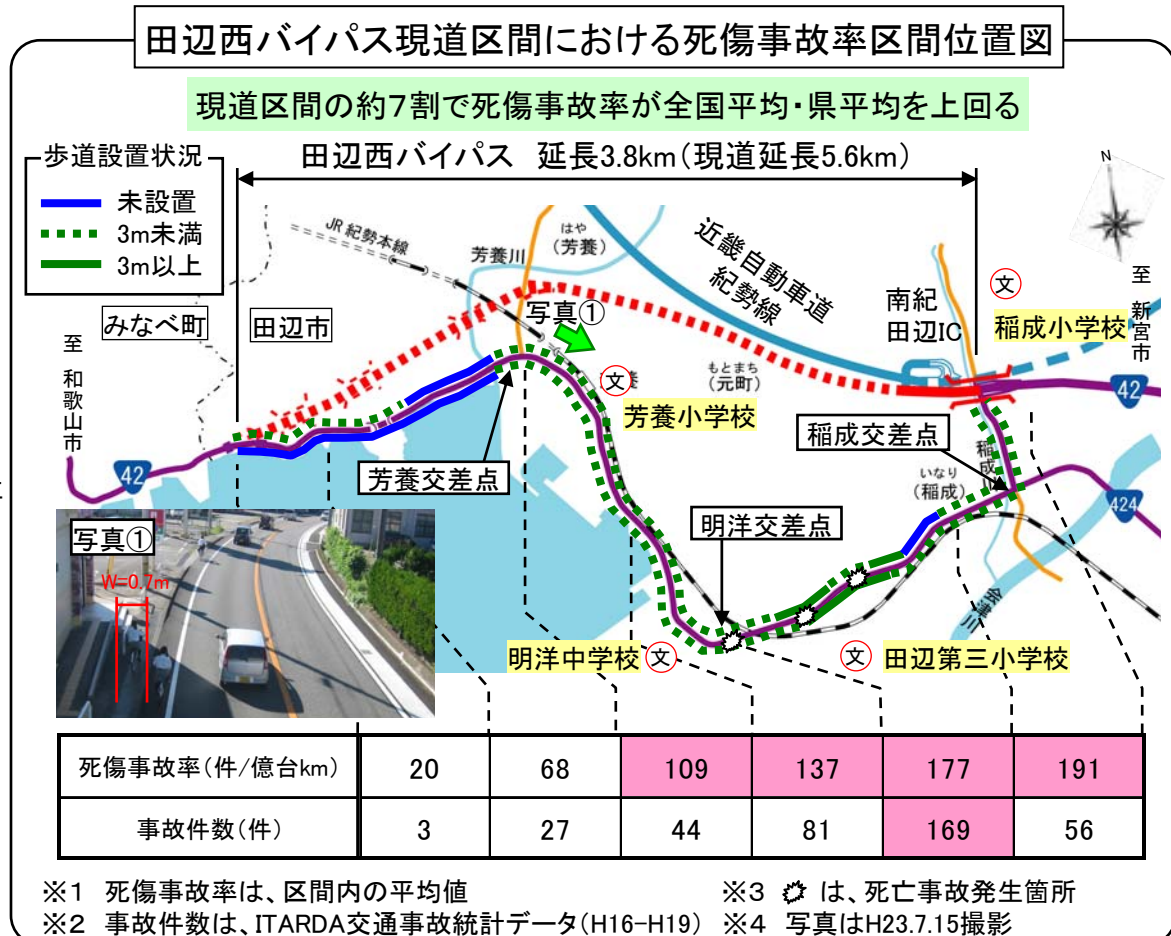
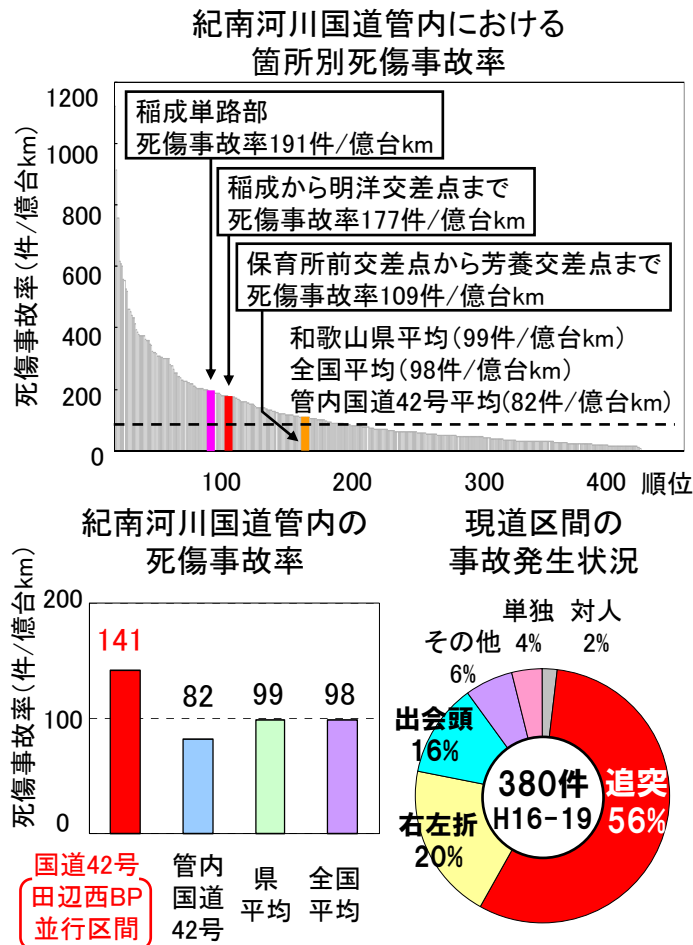
写真①：越波による道路冠水の状況

写真②：越波の状況

2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 田辺西バイパスの現道区間である一般国道42号の箇所別死傷事故率は141件/億台kmであり、県平均(99件/億台km)、全国平均(98件/億台km)及び管内国道42号平均(82件/億台km)を上回る。
- また歩道未設置区間が2.3km(約2割)存在し、標準幅員(3.0m)を満たさない区間も8.0km(約7割)あり、小中学校への通学ルートにも指定されている中で、歩道の設置が不十分。
- 田辺西バイパスの完成により通過交通の転換が見込まれ、交通安全の向上が期待される。



2. 事業の必要性等に関する視点

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	253億円	45億円	16億円	315億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.1
	270億円		15億円	285億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成23年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4 %
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 推計に用いた資料 : 平成17年度
 道路交通センサス

■ 残事業

便益(B)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	115億円	17億円	5.7億円	138億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	1.6
	77億円		12億円	89億円	

適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版
 事業費 : 280億円
 維持管理費 : 28百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

2. 事業の必要性等に関する視点

4) 地域における計画等

■地域における計画

田辺西バイパスは、下記の計画に位置付けられています。

- ◆和歌山県都市計画マスタープラン(和歌山県:平成16年5月)
- ◆田辺市都市計画マスタープラン(田辺市:平成22年3月)

■これまでの経緯

- ◆平成3年10月 国道42号(田辺～新宮)改良促進協議会 を設立

・構成メンバー 田辺市長、田辺市議長、白浜町長、白浜町議長、上富田町長、上富田町議長、すさみ町長、すさみ町議長、串本町長、串本町議長、新宮市長、新宮市議長、北山村村長、北山村議長、那智勝浦町長、那智勝浦町議長、太地町長、太地町議長、古座川町長、古座川町議長、和歌山県議会議員

(最近の動向)

- ・田辺西バイパスの事業促進を要望(～平成21年6月)
- ◆田辺市都市計画マスタープラン を公告
 - ・田辺市内において進行中の都市計画分野の主要プロジェクトとして、田辺西バイパスを位置付け。

3. 事業進捗の見込みの視点

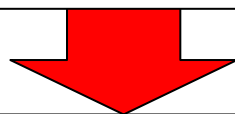
- 田辺西バイパスは、平成19年度に7工区の延長0.6kmを供用しています。
- 残る区間については、用地取得、改良工事、橋梁上部工事を推進しています。
- 引き続き事業を推進し、7工区(南紀田辺IC～芳養清川線間)の平成25年度供用を目指します。



区間	6工区（1. 6 km）	7工区（2. 2 km）	
用地	用地取得（92％）面積ベース		
工事	橋梁工事推進中	改良工事推進中	4車線供用 （0. 6 km）

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

田辺西バイパスの計画は、一般国道42号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の交通確保等を勘案し、選定された合理的な計画であり、残る3.2kmの整備に向けて、引き続き事業を推進していきます。

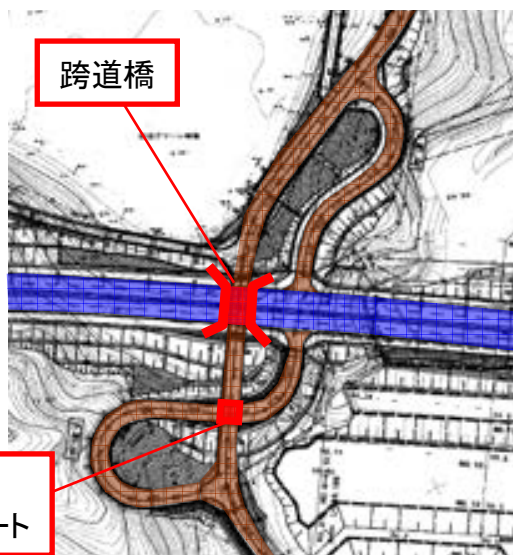


計画段階のコスト縮減として、沿道利用状況を勘案し、田辺西バイパスと市道の交差部の構造を跨道橋から交差点への変更などコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

コスト縮減事例

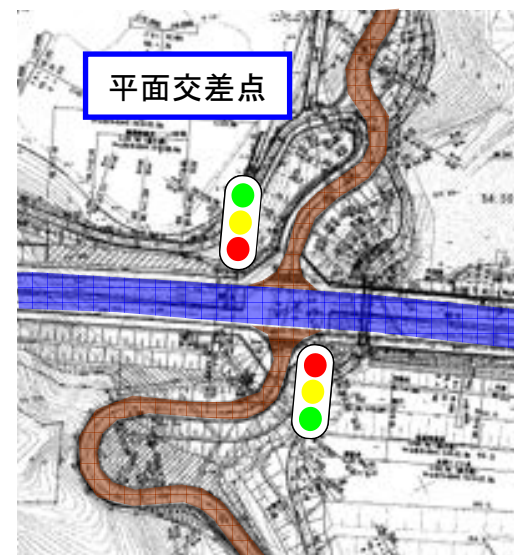
見直し前 (立体交差形式)

跨道橋およびボックスカルバートで本線を跨ぐ計画



見直し後 (平面交差形式)

平面交差点に計画変更



5. 関係自治体の意見

■和歌山県知事

平成23年8月31日 県総第280号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

国道42号田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての機能を担うとともに、国道42号の渋滞緩和を目的とする道路であります。

また、国道42号の現道は東海・東南海・南海地震による津波で浸水することが想定されており、大規模地震・津波災害への備えとしても重要な道路であることから、早期の全線供用が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

6. 対応方針(原案)

一般国道42号 田辺西バイパス

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・一般国道42号の交通量は約15,000台／12時間で推移しており、交通容量を超過。
- ・近畿自動車道紀勢線（みなべIC～南紀田辺IC間）の供用に伴い交通量が減少しているが交通混雑が残っており、田辺西バイパスの整備により交通混雑の緩和に期待。
- ・越波による通行規制が過去10年に9回発生（このうち、通行止6回・74時間）。
さらに東南海・南海地震時の津波浸水被害予測延長は1.8km（32%が被災）と予想されており整備により迂回路、避難路及び避難場所として機能するため、物流や市民生活への影響を軽減。
- ・現道区間の事故件数の約5割が追突事故であり、また路肩が狭く歩道がないため、整備により交通の転換による、安全性と走行性の向上に期待できる。
- ・費用便益比（B／C）は事業全体で1.1。残事業で1.6。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・田辺西バイパスはこれまでに南紀田辺ICアクセス部（延長0.6km）を供用。
- ・現在、残る区間の用地取得、改良工事を推進。
- ・引き続き事業を推進し、7工区（南紀田辺IC～芳養清川線間）の平成25年度供用を目指す。

田辺西バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から、継続が妥当と判断できる。

引き続き、事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



No. 9-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成23年度第2回

一般国道42号
たなべにし
田辺西バイパス
【再評価】

平成23年9月
近畿地方整備局

【前回評価時との比較表】

【 参考資料 】

事業名:一般国道42号 田辺西バイパス (道路種別 : 一般国道)

平成23年度 第2回事業評価監視委員会

事業化年度 : 平成9年度

	前回評価時 平成19年3月	今回評価 平成23年9月	(主な変更点)
再評価理由	事業採択後10年が経過した時点で継続中	再評価後3年間が経過	
事業諸元	延長:3.8km 幅員:23.5m 種級:第3種第2級 設計速度:60km/h 車線数:4車線	同左	・変更なし
全体事業費	280億円	同左	・変更なし
進捗状況	進捗率(事業費)約19% 用地取得率(面積)約57% 供用延長:0km	進捗率(事業費)約62% 用地取得率(面積)約92% 供用延長:0.6km(4/4)	・進捗率(事業費)で約43%進捗 用地取得率(面積)で約35%進捗
進捗率(事業費)	約19%	約62%	・約43%進捗
費用対効果B/C	1.7 (残事業2.5)	1.1 (残事業1.6)	①将来交通量需要推計の見直し(事業化ネット)(H22) ②前回推計に用いたOD表(H11センサスペース) ③評価年、各年度事業費、GDPデフレータの時点修正(H23)等 ④費用便益分析マニュアルの改訂(時間価値等見直し)(H20)
備考	田辺西バイパスは、平成19年度に7工区の延長0.6kmを供用。残区間については引き続き事業を推進し、7工区(南紀田辺IC～芳養清川線間)の平成25年度供用を目指す		

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道42号 田辺西バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B／C）＝1.1（経済的純現在価値（B－C）＝30億円、経済的内部収益率（E I R R）＝4.4%） 残事業：費用便益比（B／C）＝1.6（経済的純現在価値（B－C）＝49億円、経済的内部収益率（E I R R）＝6.8%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：5031万人・時間/年 渋滞損失削減時間：25万人・時間/年（3225万人・時間/年⇒3200万人・時間/年） 区間b（当該区間／並行区間）について：国道42号 上富田南部線 秋津川田辺線 田辺白浜線 国道424号 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：41万人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：4割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道42号（田辺市芳養町松原）、（旅行速度18.1km/h→改善見込み）
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	みなべ町～紀伊田辺駅（所要時間16分→13分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	みなべ町～南紀白浜空港（所要時間30分→26分）
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	田辺市、みなべ町（梅）、主な出荷先東京都、大阪府
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		☐ 中心市街地内で行う事業である	
		☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	みなべ町～田辺市（所要時間：17分→15分）
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	白浜温泉、龍神温泉、中辺路等（年間観光客入込数：6,053千人/年 H21年）
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	みなべ町～南和歌山医療センター（所要時間：22分→18分）

3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		☐ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号（田辺市稲成町～田辺市芳養町大屋）
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：1131t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道42号 上富田南部線 秋津川田辺線 田辺白浜線 国道424号 排出削減量：19t／年、排出削減率：4割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：6t／年
		☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：国道42号 上富田南部線 秋津川田辺線 田辺白浜線 国道424号 排出削減量：2t／年、排出削減率：4割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.6t／年
		☒ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	国道42号 田辺市芳養町井原地内（騒音レベル：昼間73db、夜間68db→改善見込み）
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道42号	田辺西バイパス	L = 3.8km	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,700	4車線	近畿地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成23年度		
単純合計	267億円	51億円	317億円
うち残事業分	98億円	43億円	141億円
基準年における 現在価値 (C)	270億円	15億円	285億円
うち残事業分	77億円	12億円	89億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成23年度			
供 用 年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	3.4億円	1.2億円	24億円
基準年における 現在価値 (B)	253億円	45億円	16億円	315億円
うち残事業分	115億円	17億円	5.7億円	138億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	30億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	49億円
経済的内部収益率（残事業）	6.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	12,700台/日	± 10%	1.4～1.7
事業費	98億円	± 10%	1.4～1.7
事業期間	10年	± 20%	1.5～1.6

交通状況の変化

様式－3①

事業名：田辺西バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (3.8km)		交通量※ ¹	[台/日]	0	7,400
		走行時間※ ²	[分]	0	4
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	0.00	5.60
②主な周 辺道路※ ⁴	国道42号 (4.9km)	交通量	[台/日]	12,700	7,400
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	24.00	12.49
	上富田南部 線 (10.1km)	交通量	[台/日]	1,400	300
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	5.38	0.98
	秋津川田辺 線 (7.1km)	交通量	[台/日]	3,200	2,400
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	8.22	5.86
	田辺白浜線 (3.3km)	交通量	[台/日]	11,800	11,600
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	19.02	18.02
	国道424号 (1.9km)	交通量	[台/日]	7,700	8,100
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	5.45	5.33
③その他道路合計 (3,229.5km)		走行時間費用	[億円/年]	3,053.22	3,048.07

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,260.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,115.29	3,096.34	18.95

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－ 3 ①

事業名：田辺西バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (3. 2km)		交通量 ^{※1}	[台/日]	0	6, 400
		走行時間 ^{※2}	[分]	0	3
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0. 00	4. 03
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道42号 (4. 9km)	交通量	[台/日]	12, 700	7, 400
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	25. 29	12. 49
	上富田南部 線 (10. 1km)	交通量	[台/日]	600	300
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	2. 19	0. 98
	秋津川田辺 線 (7. 1km)	交通量	[台/日]	2, 800	2, 400
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	6. 92	5. 86
	田辺白浜線 (3. 3km)	交通量	[台/日]	12, 100	11, 600
		走行時間	[分]	10	9
		走行時間費用	[億円/年]	19. 50	18. 02
	国道424号 (1. 9km)	交通量	[台/日]	10, 400	8, 100
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	8. 28	5. 33
③その他道路合計 (3, 230. 1km)		走行時間費用	[億円/年]	3, 042. 78	3, 049. 63

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3, 260. 6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3, 104. 96	3, 096. 34	8. 62

※ 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：田辺西バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成23年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (H42)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサスベース)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の 考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☐	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☐		
	採用理由を記載			
	最終配分の速度	☒		
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。			
	その他()	☐		

(3)

項目			チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道42号 田辺西バイパス

単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.28	3.8	1.06

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-25年目	H 9	1.7317	103.4	0.48	0.72		
-24年目	H 10	1.6651	102.8	1.14	1.67		
-23年目	H 11	1.6010	101.3	1.62	2.30		
-22年目	H 12	1.5395	99.7	1.26	1.75		
-21年目	H 13	1.4802	98.4	3.46	4.68		
-20年目	H 14	1.4233	96.6	7.90	10.48		
-19年目	H 15	1.3686	95.4	8.53	11.02		
-18年目	H 16	1.3159	94.4	14.14	17.74		
-17年目	H 17	1.2653	93.2	12.66	15.47		
-16年目	H 18	1.2167	92.5	19.35	22.91		
-15年目	H 19	1.1699	91.7	26.41	30.32		
-14年目	H 20	1.1249	91.2	21.24	23.58		
-13年目	H 21	1.0816	90.0	20.72	22.41		
-12年目	H 22	1.0400	90.0	24.25	25.22		
-11年目	H 23	1.0000	90.0	5.50	5.50		
-10年目	H 24	0.9615	90.0	7.90	7.60		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	9.27	8.57		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	0.48	0.42		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	0.95	0.81		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	7.62	6.26		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	23.62	18.67		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	15.78	11.99		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	3.56	2.60		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	9.70	6.82		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	19.11	12.91		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			1.01	0.66
1年目	H 35	0.6246	90.0			1.01	0.63
2年目	H 36	0.6006	90.0			1.01	0.61
3年目	H 37	0.5775	90.0			1.01	0.59
4年目	H 38	0.5553	90.0			1.01	0.56
5年目	H 39	0.5339	90.0			1.01	0.54
6年目	H 40	0.5134	90.0			1.01	0.52
7年目	H 41	0.4936	90.0			1.01	0.50
8年目	H 42	0.4746	90.0			1.01	0.48
9年目	H 43	0.4564	90.0			1.01	0.46
10年目	H 44	0.4388	90.0			1.01	0.44
11年目	H 45	0.4220	90.0			1.01	0.43
12年目	H 46	0.4057	90.0			1.01	0.41
13年目	H 47	0.3901	90.0			1.01	0.40
14年目	H 48	0.3751	90.0			1.01	0.38
15年目	H 49	0.3607	90.0			1.01	0.37
16年目	H 50	0.3468	90.0			1.01	0.35
17年目	H 51	0.3335	90.0			1.01	0.34
18年目	H 52	0.3207	90.0			1.01	0.32
19年目	H 53	0.3083	90.0			1.01	0.31
20年目	H 54	0.2965	90.0			1.01	0.30
21年目	H 55	0.2851	90.0			1.01	0.29
22年目	H 56	0.2741	90.0			1.01	0.28
23年目	H 57	0.2636	90.0			1.01	0.27
24年目	H 58	0.2534	90.0			1.01	0.26
25年目	H 59	0.2437	90.0			1.01	0.25
26年目	H 60	0.2343	90.0			1.01	0.24
27年目	H 61	0.2253	90.0			1.01	0.23
28年目	H 62	0.2166	90.0			1.01	0.22
29年目	H 63	0.2083	90.0			1.01	0.21
30年目	H 64	0.2003	90.0			1.01	0.20
31年目	H 65	0.1926	90.0			1.01	0.20
32年目	H 66	0.1852	90.0			1.01	0.19
33年目	H 67	0.1780	90.0			1.01	0.18

34年目	H	68	0.1712	90.0			1.01	0.17
35年目	H	69	0.1646	90.0			1.01	0.17
36年目	H	70	0.1583	90.0			1.01	0.16
37年目	H	71	0.1522	90.0			1.01	0.15
38年目	H	72	0.1463	90.0			1.01	0.15
39年目	H	73	0.1407	90.0			1.01	0.14
40年目	H	74	0.1353	90.0			1.01	0.14
41年目	H	75	0.1301	90.0			1.01	0.13
42年目	H	76	0.1251	90.0			1.01	0.13
43年目	H	77	0.1203	90.0			1.01	0.12
44年目	H	78	0.1157	90.0			1.01	0.12
45年目	H	79	0.1112	90.0			1.01	0.11
46年目	H	80	0.1069	90.0			1.01	0.11
47年目	H	81	0.1028	90.0			1.01	0.10
48年目	H	82	0.0989	90.0			1.01	0.10
49年目	H	83	0.0951	90.0	-24.39	-2.32	1.01	0.10
合 計					242.28	270.10	50.67	14.72
単純事業費計					266.67		50.67	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道42号 田辺西バイパス

				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
				0.28		3.2	0.90
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-10年目	H 24	0.9615	90.0	7.90	7.60		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	9.27	8.57		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	0.48	0.42		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	0.95	0.81		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	7.62	6.26		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	23.62	18.67		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	15.78	11.99		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	3.56	2.60		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	9.70	6.82		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	19.11	12.91		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			0.85	0.55
1年目	H 35	0.6246	90.0			0.85	0.53
2年目	H 36	0.6006	90.0			0.85	0.51
3年目	H 37	0.5775	90.0			0.85	0.49
4年目	H 38	0.5553	90.0			0.85	0.47
5年目	H 39	0.5339	90.0			0.85	0.46
6年目	H 40	0.5134	90.0			0.85	0.44
7年目	H 41	0.4936	90.0			0.85	0.42
8年目	H 42	0.4746	90.0			0.85	0.40
9年目	H 43	0.4564	90.0			0.85	0.39
10年目	H 44	0.4388	90.0			0.85	0.37
11年目	H 45	0.4220	90.0			0.85	0.36
12年目	H 46	0.4057	90.0			0.85	0.35
13年目	H 47	0.3901	90.0			0.85	0.33
14年目	H 48	0.3751	90.0			0.85	0.32
15年目	H 49	0.3607	90.0			0.85	0.31
16年目	H 50	0.3468	90.0			0.85	0.30
17年目	H 51	0.3335	90.0			0.85	0.28
18年目	H 52	0.3207	90.0			0.85	0.27
19年目	H 53	0.3083	90.0			0.85	0.26
20年目	H 54	0.2965	90.0			0.85	0.25
21年目	H 55	0.2851	90.0			0.85	0.24
22年目	H 56	0.2741	90.0			0.85	0.23
23年目	H 57	0.2636	90.0			0.85	0.22
24年目	H 58	0.2534	90.0			0.85	0.22
25年目	H 59	0.2437	90.0			0.85	0.21
26年目	H 60	0.2343	90.0			0.85	0.20
27年目	H 61	0.2253	90.0			0.85	0.19
28年目	H 62	0.2166	90.0			0.85	0.18
29年目	H 63	0.2083	90.0			0.85	0.18
30年目	H 64	0.2003	90.0			0.85	0.17
31年目	H 65	0.1926	90.0			0.85	0.16
32年目	H 66	0.1852	90.0			0.85	0.16
33年目	H 67	0.1780	90.0			0.85	0.15
34年目	H 68	0.1712	90.0			0.85	0.15
35年目	H 69	0.1646	90.0			0.85	0.14
36年目	H 70	0.1583	90.0			0.85	0.14
37年目	H 71	0.1522	90.0			0.85	0.13
38年目	H 72	0.1463	90.0			0.85	0.12
39年目	H 73	0.1407	90.0			0.85	0.12
40年目	H 74	0.1353	90.0			0.85	0.12
41年目	H 75	0.1301	90.0			0.85	0.11
42年目	H 76	0.1251	90.0			0.85	0.11
43年目	H 77	0.1203	90.0			0.85	0.10
44年目	H 78	0.1157	90.0			0.85	0.10
45年目	H 79	0.1112	90.0			0.85	0.09
46年目	H 80	0.1069	90.0			0.85	0.09
47年目	H 81	0.1028	90.0			0.85	0.09
48年目	H 82	0.0989	90.0			0.85	0.08
49年目	H 83	0.0951	90.0	0.00	0.00	0.85	0.08
合 計				98.00	76.65	42.67	12.34
単純事業費計				98.00		42.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 国道42号 田辺西バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)			
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%		
供用開始年次	H 23	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.6496	90.0	11.56	4.33	3.17	19.06	12.22	1.93	0.69	0.76	3.38	2.16	1.23	0.79	23.66	15.17		
1年目	H 35	0.99816	0.99282	1.01212	0.99953	0.6246	90.0	11.54	4.30	3.21	19.04	11.74	1.93	0.68	0.77	3.38	2.08	1.23	0.76	23.65	14.58		
2年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6006	90.0	11.51	4.27	3.25	19.03	11.28	1.93	0.68	0.78	3.38	2.00	1.23	0.73	23.64	14.01		
3年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.5775	90.0	11.49	4.24	3.29	19.02	10.84	1.92	0.67	0.78	3.38	1.93	1.23	0.70	23.63	13.46		
4年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.5553	90.0	11.47	4.21	3.33	19.00	10.41	1.92	0.67	0.79	3.38	1.85	1.23	0.67	23.61	12.94		
5年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.5339	90.0	11.45	4.18	3.36	18.99	10.01	1.92	0.66	0.80	3.38	1.78	1.23	0.65	23.60	12.43		
6年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5134	90.0	11.43	4.14	3.40	18.98	9.61	1.91	0.66	0.81	3.38	1.71	1.23	0.62	23.59	11.95		
7年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.4936	90.0	11.41	4.11	3.44	18.96	9.24	1.91	0.65	0.82	3.38	1.65	1.23	0.60	23.57	11.48		
8年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.4746	90.0	11.39	4.08	3.48	18.95	8.88	1.90	0.65	0.83	3.38	1.58	1.23	0.57	23.56	11.03		
9年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.4564	90.0	11.28	4.05	3.49	18.82	8.48	1.89	0.64	0.83	3.36	1.51	1.22	0.55	23.40	10.54		
10年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4388	90.0	11.17	4.03	3.50	18.70	8.10	1.87	0.64	0.83	3.34	1.45	1.21	0.52	23.25	10.07		
11年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4220	90.0	11.07	4.00	3.50	18.57	7.73	1.85	0.63	0.84	3.32	1.38	1.20	0.50	23.09	9.62		
12年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4057	90.0	10.96	3.97	3.51	18.44	7.38	1.83	0.63	0.84	3.30	1.32	1.19	0.48	22.93	9.18		
13年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.3901	90.0	10.85	3.94	3.52	18.31	7.05	1.81	0.62	0.84	3.28	1.26	1.19	0.46	22.78	8.77		
14年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.3751	90.0	10.75	3.91	3.53	18.18	6.73	1.80	0.62	0.84	3.26	1.21	1.18	0.44	22.62	8.37		
15年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.3607	90.0	10.64	3.89	3.53	18.06	6.43	1.78	0.62	0.84	3.24	1.15	1.17	0.42	22.46	8.00		
16年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3468	90.0	10.53	3.86	3.54	17.93	6.14	1.76	0.61	0.85	3.22	1.10	1.16	0.40	22.31	7.63		
17年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3335	90.0	10.42	3.83	3.55	17.80	5.86	1.74	0.61	0.85	3.20	1.05	1.15	0.38	22.15	7.29		
18年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3207	90.0	10.32	3.80	3.56	17.67	5.59	1.73	0.60	0.85	3.18	1.01	1.14	0.36	21.99	6.96		
19年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3083	90.0	10.21	3.77	3.56	17.55	5.34	1.71	0.60	0.85	3.16	0.96	1.13	0.35	21.84	6.64		
20年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.2965	90.0	10.10	3.74	3.57	17.42	5.10	1.69	0.59	0.85	3.14	0.92	1.13	0.33	21.68	6.34		
21年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.2851	90.0	10.00	3.72	3.58	17.29	4.86	1.67	0.59	0.85	3.11	0.88	1.12	0.31	21.52	6.06		
22年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.2741	90.0	9.89	3.69	3.59	17.16	4.64	1.65	0.58	0.86	3.09	0.84	1.11	0.30	21.37	5.78		
23年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2636	90.0	9.78	3.66	3.59	17.04	4.43	1.64	0.58	0.86	3.07	0.80	1.10	0.29	21.21	5.52		
24年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2534	90.0	9.68	3.63	3.60	16.91	4.23	1.62	0.58	0.86	3.05	0.76	1.09	0.27	21.05	5.26		
25年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2437	90.0	9.57	3.60	3.61	16.78	4.04	1.60	0.57	0.86	3.03	0.73	1.08	0.26	20.90	5.03		
26年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2343	90.0	9.46	3.57	3.62	16.65	3.85	1.58	0.57	0.86	3.01	0.70	1.07	0.25	20.74	4.80		
27年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2253	90.0	9.36	3.55	3.62	16.53	3.67	1.56	0.56	0.86	2.99	0.67	1.07	0.24	20.58	4.58		
28年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2166	90.0	9.25	3.52	3.63	16.40	3.50	1.55	0.56	0.87	2.97	0.64	1.06	0.23	20.43	4.37		
29年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2083	90.0	9.14	3.49	3.64	16.27	3.34	1.53	0.55	0.87	2.95	0.61	1.05	0.22	20.27	4.17		
30年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2003	90.0	9.04	3.46	3.65	16.14	3.19	1.51	0.55	0.87	2.93	0.58	1.04	0.21	20.11	3.98		
31年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.1926	90.0	8.93	3.43	3.65	16.01	3.04	1.49	0.54	0.87	2.91	0.55	1.03	0.20	19.96	3.79		
32年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.1852	90.0	8.82	3.40	3.66	15.89	2.90	1.48	0.54	0.87	2.89	0.53	1.02	0.19	19.80	3.62		
33年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.1780	90.0	8.71	3.38	3.67	15.76	2.77	1.46	0.54	0.88	2.87	0.50	1.02	0.18	19.64	3.45		
34年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1712	90.0	8.61	3.35	3.68	15.63	2.64	1.44	0.53	0.88	2.85	0.48	1.01	0.17	19.49	3.29		
35年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1646	90.0	8.50	3.32	3.68	15.50	2.52	1.42	0.53	0.88	2.83	0.46	1.00	0.16	19.33	3.14		
36年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1583	90.0	8.39	3.29	3.69	15.38	2.40	1.40	0.52	0.88	2.81	0.44	0.99	0.15	19.17	3.00		
37年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1522	90.0	8.29	3.26	3.70	15.25	2.29	1.39	0.52	0.88	2.79	0.42	0.98	0.15	19.02	2.86		
38年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1463	90.0	8.18	3.24	3.71	15.12	2.18	1.37	0.51	0.88	2.77	0.40	0.97	0.14	18.86	2.72		
39年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1407	90.0	8.07	3.21	3.71	14.99	2.08	1.35	0.51	0.89	2.74	0.38	0.96	0.13	18.70	2.60		
40年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1353	90.0	7.97	3.18	3.72	14.87	1.98	1.33	0.50	0.89	2.72	0.36	0.96	0.13	18.55	2.48		
41年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1301	90.0	7.86	3.15	3.73	14.74	1.89	1.31	0.50	0.89	2.70	0.35	0.95	0.12	18.39	2.36		
42年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1251	90.0	7.75	3.12	3.74	14.61	1.80	1.30	0.49	0.89	2.68	0.33	0.94	0.12	18.23	2.25		
43年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1203	90.0	7.65	3.09	3.74	14.48	1.72	1.28	0.49	0.89	2.66	0.32	0.93	0.11	18.08	2.15		
44年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1157	90.0	7.54	3.07	3.75	14.36	1.64	1.26	0.49	0.90	2.64	0.30	0.92	0.11	17.92	2.05		
45年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1112	90.0	7.43	3.04	3.76	14.23	1.56	1.24	0.48	0.90	2.62	0.29	0.91	0.10	17.76	1.95		
46年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1069	90.0	7.33	3.01	3.77	14.10	1.49	1.23	0.48	0.90	2.60	0.27	0.90	0.10	17.60	1.86		
47年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1028	90.0	7.22	2.98	3.77	13.97	1.42	1.21	0.47	0.90	2.58	0.26	0.90	0.09	17.45	1.77		
48年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.0989	90.0	7.11	2.95	3.78	13.84	1.35	1.19	0.47	0.90	2.56	0.25	0.89	0.09	17.29	1.69		
49年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.0951	90.0	7.00	2.92	3.79	13.72	1.29	1.17	0.46	0.90	2.54	0.24	0.88	0.08	17.13	1.61		
合 計								478.08	180.92	179.09	838.10	252.88	79.95	28.67	42.75	151.37	45.39	54.08	16.34	1,043.55	314.62		

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 国道42号 田辺西バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)			
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%		
供用開始年次	H 23	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.6496	90.0	5.14	2.14	1.40	8.68	5.56	0.73	0.28	0.29	1.30	0.83	0.43	0.28	10.41	6.67		
1年目	H 35	0.99816	0.99282	1.01212	0.99953	0.6246	90.0	5.13	2.13	1.41	8.67	5.35	0.72	0.28	0.29	1.30	0.80	0.43	0.27	10.40	6.41		
2年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.6006	90.0	5.12	2.11	1.43	8.67	5.14	0.72	0.28	0.30	1.30	0.77	0.43	0.26	10.40	6.16		
3年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.5775	90.0	5.12	2.10	1.45	8.66	4.93	0.72	0.28	0.30	1.30	0.74	0.43	0.25	10.39	5.92		
4年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.5553	90.0	5.11	2.08	1.46	8.65	4.74	0.72	0.27	0.31	1.30	0.71	0.43	0.24	10.38	5.69		
5年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.5339	90.0	5.10	2.06	1.48	8.64	4.55	0.72	0.27	0.31	1.30	0.68	0.43	0.23	10.37	5.47		
6年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.5134	90.0	5.09	2.05	1.50	8.64	4.38	0.72	0.27	0.31	1.30	0.66	0.43	0.22	10.37	5.25		
7年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.4936	90.0	5.08	2.03	1.52	8.63	4.20	0.72	0.27	0.32	1.30	0.63	0.43	0.21	10.36	5.05		
8年目	H 42	0.99061	0.99308	1.00215	0.99307	0.4746	90.0	5.07	2.02	1.53	8.62	4.04	0.71	0.27	0.32	1.30	0.61	0.43	0.20	10.35	4.85		
9年目	H 43	0.99052	0.99303	1.00215	0.99302	0.4564	90.0	5.02	2.00	1.54	8.56	3.86	0.71	0.26	0.32	1.29	0.58	0.43	0.19	10.28	4.63		
10年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.4388	90.0	4.97	1.99	1.54	8.50	3.68	0.70	0.26	0.32	1.28	0.56	0.43	0.18	10.21	4.42		
11年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.4220	90.0	4.93	1.98	1.54	8.45	3.52	0.69	0.26	0.32	1.28	0.53	0.42	0.18	10.14	4.22		
12年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.4057	90.0	4.88	1.96	1.55	8.39	3.36	0.69	0.26	0.32	1.27	0.51	0.42	0.17	10.08	4.03		
13年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.3901	90.0	4.83	1.95	1.55	8.33	3.21	0.68	0.26	0.32	1.26	0.49	0.42	0.16	10.01	3.85		
14年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.3751	90.0	4.78	1.93	1.55	8.27	3.06	0.67	0.25	0.32	1.25	0.46	0.41	0.15	9.94	3.68		
15年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	0.3607	90.0	4.74	1.92	1.56	8.21	2.92	0.67	0.25	0.32	1.25	0.44	0.41	0.15	9.87	3.51		
16年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.3468	90.0	4.69	1.91	1.56	8.15	2.79	0.66	0.25	0.32	1.24	0.42	0.41	0.14	9.80	3.35		
17年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.3335	90.0	4.64	1.89	1.56	8.10	2.66	0.65	0.25	0.33	1.23	0.40	0.40	0.13	9.73	3.20		
18年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.3207	90.0	4.59	1.88	1.57	8.04	2.54	0.65	0.25	0.33	1.22	0.39	0.40	0.13	9.66	3.06		
19年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3083	90.0	4.54	1.87	1.57	7.98	2.43	0.64	0.25	0.33	1.21	0.37	0.40	0.12	9.59	2.92		
20年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.2965	90.0	4.50	1.85	1.57	7.92	2.32	0.63	0.24	0.33	1.21	0.35	0.40	0.12	9.52	2.79		
21年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.2851	90.0	4.45	1.84	1.58	7.86	2.21	0.63	0.24	0.33	1.20	0.34	0.39	0.11	9.45	2.66		
22年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.2741	90.0	4.40	1.82	1.58	7.80	2.11	0.62	0.24	0.33	1.19	0.32	0.39	0.11	9.38	2.54		
23年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.2636	90.0	4.35	1.81	1.58	7.75	2.02	0.61	0.24	0.33	1.18	0.31	0.39	0.10	9.31	2.42		
24年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.2534	90.0	4.31	1.80	1.59	7.69	1.92	0.61	0.24	0.33	1.17	0.29	0.38	0.10	9.25	2.31		
25年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.2437	90.0	4.26	1.78	1.59	7.63	1.83	0.60	0.23	0.33	1.17	0.28	0.38	0.09	9.18	2.21		
26年目	H 60	0.98871	0.99209	1.00207	0.99209	0.2343	90.0	4.21	1.77	1.59	7.57	1.75	0.59	0.23	0.33	1.16	0.27	0.38	0.09	9.11	2.11		
27年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2253	90.0	4.16	1.75	1.60	7.51	1.67	0.59	0.23	0.33	1.15	0.26	0.37	0.08	9.04	2.01		
28年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2166	90.0	4.12	1.74	1.60	7.46	1.59	0.58	0.23	0.33	1.14	0.24	0.37	0.08	8.97	1.92		
29年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2083	90.0	4.07	1.73	1.60	7.40	1.52	0.57	0.23	0.33	1.14	0.23	0.37	0.08	8.90	1.83		
30年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2003	90.0	4.02	1.71	1.61	7.34	1.45	0.57	0.23	0.33	1.13	0.22	0.37	0.07	8.83	1.75		
31年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.1926	90.0	3.97	1.70	1.61	7.28	1.38	0.56	0.22	0.34	1.12	0.21	0.36	0.07	8.76	1.67		
32年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.1852	90.0	3.93	1.68	1.61	7.22	1.32	0.55	0.22	0.34	1.11	0.20	0.36	0.07	8.69	1.59		
33年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.1780	90.0	3.88	1.67	1.62	7.16	1.26	0.55	0.22	0.34	1.10	0.19	0.36	0.06	8.62	1.51		
34年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.1712	90.0	3.83	1.66	1.62	7.11	1.20	0.54	0.22	0.34	1.10	0.19	0.35	0.06	8.55	1.45		
35年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.1646	90.0	3.78	1.64	1.62	7.05	1.14	0.53	0.22	0.34	1.09	0.18	0.35	0.06	8.49	1.38		
36年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.1583	90.0	3.74	1.63	1.63	6.99	1.09	0.53	0.21	0.34	1.08	0.17	0.35	0.05	8.42	1.31		
37年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1522	90.0	3.69	1.61	1.63	6.93	1.04	0.52	0.21	0.34	1.07	0.16	0.34	0.05	8.35	1.25		
38年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1463	90.0	3.64	1.60	1.63	6.87	0.99	0.51	0.21	0.34	1.06	0.15	0.34	0.05	8.28	1.20		
39年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1407	90.0	3.59	1.59	1.64	6.81	0.95	0.51	0.21	0.34	1.06	0.15	0.34	0.05	8.21	1.14		
40年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1353	90.0	3.55	1.57	1.64	6.76	0.90	0.50	0.21	0.34	1.05	0.14	0.34	0.04	8.14	1.09		
41年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1301	90.0	3.50	1.56	1.64	6.70	0.86	0.49	0.21	0.34	1.04	0.13	0.33	0.04	8.07	1.04		
42年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1251	90.0	3.45	1.54	1.65	6.64	0.82	0.49	0.20	0.34	1.03	0.13	0.33	0.04	8.00	0.99		
43年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1203	90.0	3.40	1.53	1.65	6.58	0.78	0.48	0.20	0.34	1.02	0.12	0.33	0.04	7.93	0.94		
44年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1157	90.0	3.36	1.52	1.65	6.52	0.74	0.47	0.20	0.34	1.02	0.12	0.32	0.04	7.86	0.90		
45年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1112	90.0	3.31	1.50	1.66	6.46	0.71	0.47	0.20	0.34	1.01	0.11	0.32	0.04	7.79	0.86		
46年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1069	90.0	3.26	1.49	1.66	6.41	0.68	0.46	0.20	0.35	1.00	0.11	0.32	0.03	7.73	0.82		
47年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1028	90.0	3.21	1.47	1.66	6.35	0.64	0.45	0.19	0.35	0.99	0.10	0.31	0.03	7.66	0.78		
48年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.0989	90.0	3.17	1.46	1.67	6.29	0.61	0.45	0.19	0.35	0.99	0.10	0.31	0.03	7.59	0.74		
49年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.0951	90.0	3.12	1.45	1.67	6.23	0.58	0.44	0.19	0.35	0.98	0.09	0.31	0.03	7.52	0.71		
合 計								212.79	89.46	78.88	381.12	115.03	30.02	11.78	16.43	58.23	17.46	19.00	5.74	458.35	138.23		

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	田辺西バイパス	4	3.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					23,317		
	改良費				13,758		
		土工	m3	3,122,500	10,891	切土(1,384千m3)、盛土(147千m3)、捨土(1,243千m3) 等	
		軟弱地盤改良工	m3	4,583	286		
		法面工	m ²	75,932	898	切土法面、盛土法面	
		擁壁工	式	1	1,560	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等	
		函渠工	m	194	123		
	橋梁費				8,103		
		100m以上	m	1,727	7,138	5橋	
		100m未満	m	130	965	3橋	
	トンネル費						
		NATM	m				
		シールド	m				
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
	舗装費				1,178		
		車道舗装	m ²	79,111	1,037		
		歩道舗装	m ²	25,789	141		
	付帯施設費				278		
		交通管理施設工	式	1	278	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m					
②用地及補償費					3,577		
	用地費	m ²	226,246	2,439			
		宅地	m ²	8,444	462		
		田畑	m ²	43,560	1,541		
		山林・原野	m ²	174,242	436		
	補償費	式	1	1,138			
③間接経費			式	1	1,106	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
全体事業費					28,000		

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	田辺西バイパス	4	3.2km

事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
①工事費					9,513			
	改良費				5,361			
		土工	m3	650,000	4,334	切土(655千m3)、盛土(64千m3)、捨土(591千m3) 等		
		軟弱地盤改良工	m3					
		法面工	m ²	25,932	307	切土法面、盛土法面		
		擁壁工	式	1	720	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等		
		函渠工	m					
	橋梁費				2,871			
		100m以上	m	1,227	2,871	芳養・茨谷・大屋谷上部、大屋谷下部		
		100m未満	m					
	トンネル費							
		NATM	m					
		シールド	m					
	IC・JCT費							
		IC	箇所					
		JCT	箇所					
	舗装費				1,003			
		車道舗装	m ²	66,668	896			
		歩道舗装	m ²	22,643	108			
	付帯施設費				278			
		交通管理施設工	式	1	278	標識工、防護柵工、道路照明等		
		遮音壁	m					
②用地及補償費					357			
	用地費			m ²	7,840	277		
		宅地			m ²			
		田畑			m ²	7,840	277	
		山林・原野			m ²			
	補償費			式	1	80		
③間接経費		式	1	420	地質調査、測量、設計にかかる費用等			
全体事業費					10,290			

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	田辺西バイパス	4	3.8km

■維持管理費内訳

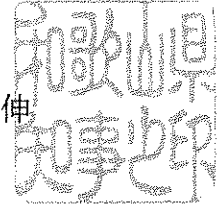
区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.8	600	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	4,700	橋梁1.9km
維持管理費合計			5,300	

県 総 第 2 8 0 号

平成23年 8月31日

近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成23年8月16日付け国近整企画第29号で意見照会のあった標記について、下記のとおり回答します。

記

1. 対応方針（原案）に対する意見

（1）一般国道26号和歌山岬道路

国道26号和歌山岬道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化し、広域的なネットワークを形成する、重要な府県間道路であります。

また、国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制の解消、救急医療活動の支援等の整備効果を高めるためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

（2）一般国道42号田辺西バイパス

国道42号田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての機能を担うとともに、国道42号の渋滞緩和を目的とする道路であります。

また、国道42号の現道は東海・東南海・南海地震による津波で浸水することが想定されており、大規模地震・津波災害への備えとしても重要な道路であることから、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

